

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

朝倉の猫が日比谷にやってきた、ニャーニャーニャー
どのポーズがお好き？
朝倉文夫の猫AKN 総選挙@日比谷
4月26日(金)～6月23日(日)



1階でブロンズの猫がお出迎え【原題不明(右前足上げる)】

3階までお散歩して、投票してね！

1階特別展「アートになった猫たち展」の開催に合わせて、朝倉文夫の猫作品の人気投票を行います。6月7日の日比谷カレッジではその中間発表も予定しています。3階までお散歩して朝倉文夫の猫を見つけ、お気に入りの投票して下さい。

●朝倉文夫とは？●
明治から昭和にかけて活躍した彫刻家で、自他ともに認める大の猫好き。1964年の東京オリンピックと同時期に開催予定だった「猫百態」展を企画し、たくさんの猫を制作したが、白血病のため直前に他界し、幻の展覧会となった。台東区谷中にアトリエ兼住居であった朝倉彫塑館がある。

5月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パールゾーン 三角台
1階特別展「アートになった猫たち」関連展示 (～6/23) NEW!
4月26日から始まる特別展にあわせて、当館が所蔵する、猫をモチーフにした小説や芸術に関する本を展示しています。洋の東西を問わず、人々を魅了し続ける猫の愛らしさや美しさを堪能ください。

3F フルゾーン
「比くらべる」(～8/16)
過去と未来、朝と夜など対になる二つのものを様々な角度から比べました。その両方を比較することで、常識や思い込みには捉われない「新たな視点」のヒントが生まれるかもしれません。

3F エレベーターホール ガラスケース
日比谷カレッジ 関連展示
「戦争と暮らしの手帖」～『戦中・戦後の暮らしの記録』を編んで～(～6/16) NEW!
暮らしの手帖社から刊行された『戦争中の暮らしの記録』、『戦中・戦後の暮らしの記録 君と、これから生まれてくる君へ』の原稿や写真を展示し、「庶民の戦争の記憶」を伝えます。

展示 PICK UP

■3F グリーンゾーン【哲学・歴史・自然科学】の本を集めたゾーン ～6/14(金)
「豊かな暮らし」お薦めの本5選
あなたにとっての「満ち足りた暮らし」を見つける助けとなりそうな本5冊を紹介します。

| | | | |
|---|-----------------------|------------|--------|
| 1 | ケの美 あたりまえの日常に、宿るもの | ●新潮社 | ●2018年 |
| 2 | ホテルオークラ元総料理長のわが家でプロの味 | ●KADOKAWA | ●2018年 |
| 3 | はじめてのサウナ | ●リトルモア | ●2018年 |
| 4 | 社会を変える投資ESG入門 | ●日本経済新聞出版社 | ●2018年 |
| 5 | メイキング・オブ・勉強の哲学 | ●文藝春秋 | ●2018年 |

エス・ディー・ジーズ SDGs × 出会う
携わる仕事のプロジェクトや日々の小さな出来事。何かに行き詰ったとき、いつもとは違う場所へ出かけ、新たな出会いを求めてみてはどうでしょう。思いがけない人からのひと言がきっかけで、突破口が開くかもしれません。大人になると人間関係や思考も固まりがち。立場や考え方の異なる人と触れあうことは、私たちの毎日に新鮮な風を運んでくれます。

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)」は2015年9月、国連サミットで採択された世界を変えるための17の目標です。その中の1つに「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」があります。

『知らない人に出会う』 キョー・スターク / 著 朝日出版社 2017年
『ソーシャル・プロジェクトを成功に導く12ステップ』 佐藤真久・広石拓司 / 著 みくに出版 2018年

日比谷カレッジ 報告

SDGs 理解からアクションへ パートナリーシップで日本の未来をつくらう！
日時: 3月8日(金) 講師: 佐藤 真久(東京都大学大学院 環境情報学研究所 教授) 広石 拓司(株式会社エンバブリック代表取締役)

社会の多様化で、従来の縦割りでは解決できない複雑な問題が増えた現代。それらを克服し持続可能な経済・社会を実現するために、私たちは所属や立場の垣根を越え、何にどう取り組むべきか。参加者一人一人が自分ごととして考え、大きな宿題を持ち帰る機会となりました。

千代田区立図書館からのお知らせ From Chiyoda Public Library
「ヨムキク ちよだ2019」
千代田区立図書館では、毎年「こどもの読書週間」(4/23～5/12)に合わせて「ヨムキク ちよだ」を開催しています。

【千代田図書館】 参加無料
第11回 こぼと音のフェスティバル♪ “アルケミストのうたをつむぐコンサート”
●日時: 5月3日(金・祝) 11:00～12:00/14:00～15:00
●場所: 区役所1階 区民ホール(申込不要)

児童書展示 “こどもの読書週間展示 “大集合!ふしぎなともだち””
●会期: 4月23日(火)～5月12日(日)
●場所: 9階 第2展示ホール

おはなしに出会えるパン屋さん2019
●会期: 4月23日(火)～27日(土)、5月7日(火)～11日(土)
●場所: 区役所1階 さくらペーカー

【四番町図書館】 参加無料
童謡コンサート うたおう!はる・なつ・あき・ふゆ
●日時: 4月27日(土) 14:00～15:30
●場所: 四番町図書館 ラウンジ(申込不要)

にちようびおはなし会 ～こどもの読書週間スペシャル～
●日時: 4月28日(日) 14:00～15:30
※小学生以上
●場所: 四番町図書館 ラウンジ(申込制)

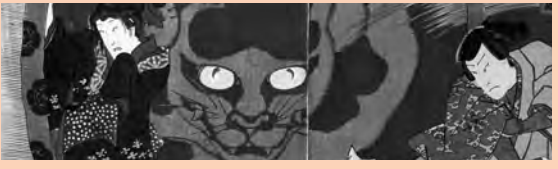
きんようびおはなし会 ～こどもの読書週間スペシャル～
●日時: 5月3日(金・祝) 14:00～15:00
●場所: 四番町図書館 授乳室前(申込不要)

おはなし会スペシャル 読んで歌って楽しんで!
●日時: 5月4日(土・祝) 14:00～14:40/14:50～15:30
●場所: 四番町図書館 ラウンジ(申込不要)

※「としょかんをめぐろう!スタンプラリー」も開催中です。イベントの詳細情報は、「ヨムキクちよだ2019」のチラシ、または千代田区立図書館ホームページ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/> をご覧ください。

アートになった猫たち展

●本展のみどころ●
●猫を愛した芸術家たち● 猫を愛し、好んで描いた歌川国芳、竹久夢二、藤田嗣治、そして現代の作家たちまで、多くの作家による猫の作品を紹介します。
●江戸と明治の猫がいる暮らし● 幕末から明治にかけて人々の暮らしを描いた作品の中にも、多くの猫が描かれています。人々に寄りそう、猫たちの愛らしい姿を紹介します。
●歌舞伎の化け猫とパロディ、猫あそび● 歌舞伎の名場面に登場する化け猫、擬人化した猫のパロディや猫を遊んだ作品など、いろいろな場面で登場する猫の姿を紹介します。



●豊原国周 東けい三十六彦 柳ばしめ(後期展示作品) 三代歌川国芳 古猫の姿(部分) 1861年 稲垣知雄 子猫 昭和期

今も昔もねこが好き
昔より猫ブームは存在していました。江戸の町では、愛猫家の絵師・国芳が人気を博し、多様な猫の姿が浮世絵に描かれ、近代では竹久夢二、藤田嗣治、水野年方、海外ではピアズリーなどが自らの作品に好んで猫を描き、多くの人々を魅了してきました。本展は、浮世絵と近代美人画のコレクションを中心に、暮らしの中に描かれた猫や、猫を愛した芸術家たちの作品約100点(展示替えを含む)を紹介しています。人と猫の深い関わりをお楽しみください。

●会期: 4月26日(金)～6月23日(日)
●休館日: 5月20日(月)、6月17日(月)
●5月21日(火)より一部作品が展示替えになります
●開室時間: 月曜～木曜 10:00～19:00 金曜 10:00～20:00、土曜 10:00～19:00 日曜・祝日 10:00～17:00 (入室は閉室の30分前まで)
●会場: 1階特別展示室
●観覧料: 一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。
●主催: 千代田区立日比谷図書文化館
●監修: 中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事)
●企画協力: E.M.I.ネットワーク

●関連イベント●
●黒猫奇譚 今も昔も猫好きな芸術家たち～夢二・漱石から国芳まで～
●日時: 5月16日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
●場所: 日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
●講師: 中右 瑛(本展監修者、国際浮世絵学会常任理事)
●定員: 200名(事前申込順、定員になり次第締切)
●参加費: 500円

●関連イベント●
●刺繍ワークショップ <にやるふあべっと> 5月1日(水)より申込受付開始!
かわいい猫のアルファベットを刺繍して、本型のワッペンを作ろう!
●日時: 6月13日(木) 13:00～15:00(12:30開場)
●場所: 日比谷図書文化館4階 スタジオプラス(小ホール)
●講師: 千葉 美波子(刺繍家、ABCクリエイター)
●定員: 24名(事前申込順、定員になり次第締切)
●参加費: 1000円(材料費込み)
※参加に際しては、必要な方は拡大鏡をお持ちください。

●関連イベントお申込み方法: ホームページの申込みフォーム、電話(03-3502-3340)、来館(1階受付)のいずれかにて①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。

calendar 開館時間: 平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

| 2019年5月 | | | | | | | 2019年6月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | | 1 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | | | | | 30 | | | | | | |



●お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4
TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

5/14 (火)他 三国志 それぞれの国のかたち(全3回) 第2回「新天地を切りひらく 呉」

講師：渡邊 義浩(早稲田大学文学学術院教授)

「漢」という、後の国家が規範とする「古典中国」が崩壊したのち、中国は魏・蜀・呉の三国が並び立ちます。同じ時代に建国されながら、三国のかたちはそれぞれに異なるものでした。混迷のなか、三国志の英雄たちが模索した国のかたちを比べてみましょう。



赤壁

- 日時:5月14日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■参加費:各回1000円

第3回「伝統を守りつづける 蜀」

6月18日(火)19:00~20:30(18:30開場)

※ 第1回「国のかたちをかえる 魏」は4月16日(火)に終了しています。

5/21 (火)他 宗教で読み解く世界(全2回)

講師：橋爪 大三郎(東京工業大学名誉教授/社会学者)

ポスト冷戦の時代、世界は「文明の衝突」に入ったのだろうか。アメリカの一国主義化、台頭する中国、イスラムやインドの動向…。その根底には、長年脇役に甘んじてきた非西欧圏の自己主張がある。キリスト教と異なった思考や行動様式をそなえた宗教がある。宗教は、世界を読み解く基本フレームなのだ。

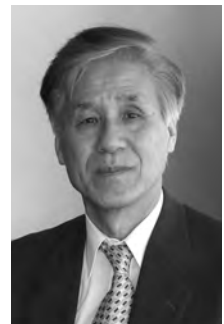


- 日時:第1回「トランプのアメリカ」5月21日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 第2回「習近平の中国」5月28日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回200名 ■参加費:各回1000円

5/22 (水) 〈新〉大嘗祭と日本人 一 稲・酒・〈女〉からのアプローチ

講師：工藤 隆(大東文化大学名誉教授)

大嘗祭(だいじょうさい)を、①原型(縄文・弥生時代)、②古墳時代、③天武・持統天皇の初期大嘗祭、④式次第固定の平安時代、⑤応仁の乱以後221年間の断絶による簡略化、⑥明治政府が加えた変化、うちの①原型、②古墳時代、③初期大嘗祭に力点を置いて、大嘗祭の原型・本質・源に迫ります。



- 日時:5月22日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

6/6 (木) 江戸歴史講座 第60回 和時計とその機構 ー 不定時法時刻表示機構の実際 ー

講師：佐々木 勝浩(国立科学博物館名誉館員・名誉研究員)

機械時計は室町時代末期に西洋から伝えられましたが、日本の不定時法時刻を表示するために機構に様々な改良が加えられました。こうした機構は西洋の時計には見られないもので、日本の時計「和時計」の主な特徴となっています。和時計をいくつか紹介し、その機構と機能について解説します。



時計機構部 (国立科学博物館)

- 日時:6月6日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)

6/7 (金) 朝倉文夫の猫たちと朝倉彫塑館

～朝倉文夫の猫 AKN 総選挙 @日比谷、中間発表もあるにゃん～

講師：戸張 泰子(台東区立朝倉彫塑館 主任研究員)

大の猫好きで彫刻家として初の文化勲章を受けた朝倉文夫は、数多くの生き生きとした猫の像を制作し、今も人々を魅了しています。その朝倉の猫の作品と、谷中のアトリエ兼、住居で教育の場となった朝倉彫塑館(国指定名勝)の魅力をご紹介します。



《たま(好日)》1930年

- 日時:6月7日(金)19:00~21:00(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

6/12 (水) ニッポンの水産業、その改革とイノベーションをどうするのか

講師：八木 信行(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

グローバル社会の中でニッポンの水産業や、食卓はどうなっていくのでしょうか。収益性の高い農林水産ビジネスを成立させながら、過疎地域の衰退に歯止めをかけることはできるのでしょうか。捕鯨問題はどうか考えればよいのでしょうか。相反する様々な課題をどうバランスさせるかを、議論します。



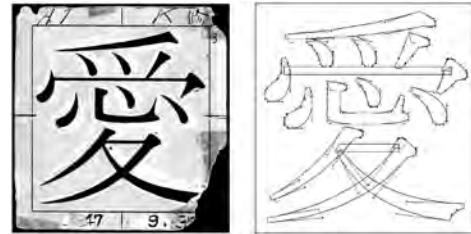
「北海道での定置網漁業網揚げの様子」 撮影:八木 信行氏

- 日時:6月12日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円

6/13 (木) 活字のかたち鑑賞会 その2 秀英体の生命力

講師：伊藤正樹・宮田愛子(大日本印刷株式会社 秀英体開発グループ)

明朝活字の代表的な書体、秀英体。100年以上の歴史を持つこの書体は「広辞苑」や新潮文庫など、現在も多くの書籍に使われているため、本好きの方ならどこかで一度は目にしたことがあるかもしれません。書体がどのように作られるか、印刷と活字の歴史、利用事例なども交えて、これまでとこれからの「秀英体」をお話しいたします。



左:手書き原図(1972年) 右:デジタル化(2009年)

- 日時:6月13日(木)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円

6/21 (金) 古書で紐解く近現代史セミナー 第34回 諷刺画で読み解く日清・日露戦争

講師：茨木正治(東京情報大学大学院教授)

明治期に起きた日清・日露戦争における日本の勝利により極東の小国・日本は欧米列強にとって脅威に変わっていきましました。本講座では、その過程を諷刺画で読み解き、欧米諸国の日本のイメージの変遷を紹介いたします。さらに日本国内で発行された諷刺画との比較も行い、諷刺画の背景となった当時の日本社会、国際情勢などを考察します。



ワシントンポストに掲載された諷刺画 (「The American Monthly Review of Reviews」1905年8月号)

- 日時:6月21日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民・学生500円)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

6/25 (火) 上廣・日比谷ライブラリー・レクチャー「私の修業時代」 俳優の道 ～真剣勝負で挑んだ日々、そして今

講師：滝田 栄(俳優)

1983年NHK大河ドラマ「徳川家康」(山岡荘八原作)で主演・家康を演じて人気を博し、舞台「レ・ミゼラブル」では14年間主演ジャン・バルジャンを務めた俳優 滝田栄氏。俳優業にとどまらず、幅広く映像制作にも打ち込む滝田氏にとっての修業、修業時代とはどのようなものだったかを伺います。(主催:公益財団法人 上廣倫理財団、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:6月25日(火)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民・学生無料)

※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

6/26 (水) 怖いぞ!怒る鬼平、叱る鬼平 ー「鬼平お名前帖」を作った編集者が語る池波正太郎ー

講師:名女川 勝彦(元株式会社文藝春秋取締役)

池波正太郎の代表時代小説『鬼平犯科帳』(文藝春秋)は登場人物の多さから、死んだはずの盗賊などが「再登場」する問題が発生しました。そこで池波のために作ったのが手製「お名前帖」です。池波の生前をふり振り返りながらその肉声の一端をご紹介します。参考までに「お名前帖」の一部(複写)をお持ち帰りいただきます。



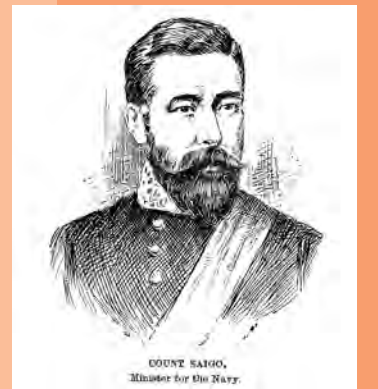
- 日時:6月26日(水):19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)

●特別研究室企画展示 内田嘉吉が愛読した米国雑誌

～「The American Monthly Review of Reviews」と「The National Geographic Magazine」～

▶開催中～6月30日(日)

インターネットはもちろん、テレビ放送もまだ始まっていなかった20世紀初頭、国際派官僚・内田嘉吉はどのようにして海外の情報に接していたのでしょうか。その一端を知ることができる、内田嘉吉が愛読した米国雑誌2誌を展示しています。内田嘉吉は日本が諸外国からどのように見られていたかに関心を持っていたことにちなみ、日本関連記事を中心に紹介しています。



西郷従道 海軍大臣 (「The American Monthly Review of Reviews」1894年9月号)

特別展 アートになった猫たち展 公式twitter開設中!!

よいニャンニャンの日、4月22日に特別展「アートになった猫たち展」の期間限定公式twitterを開設しました!特別展の情報はもちろんのこと、関連イベントや関連展示、日比谷公園にいる猫の様子など様々な情報を発信していきます。フォローをよろしくお願ひします。ニャ ^o^o^



▼期間:～6月23日(日)まで

▼アカウント名:

アートになった猫たち展 in 日比谷 (@artnanekeo_hibiya)